



## 1427 6年「1学期の目標 2の2」4/10

### ○Aさん

- 1 単元まとめノート<sup>たんげん</sup>を忘れず<sup>わす</sup>に出す。(理由省略<sup>りゆうしりやく</sup>)
- 2 小テストの点数<sup>まんてん</sup>を100点満点にする。小テストはテストよりも簡単<sup>かんたん</sup>な<sup>まんてん</sup>だから、小テストは満点にしよう!と思った。
- 3 班<sup>はん</sup>でしっかり協力<sup>きやうりやく</sup>する。(理由省略<sup>りゆうしりやく</sup>)

### ○Bさん

- 1 先生の話<sup>ましが</sup>を聞いてからする。たまに先生の話<sup>ましが</sup>を聞かずに書いた文<sup>ぶん</sup>が間違<sup>まちが</sup>った。
- 2 分からない時は聞く。ずっと分からなくて時間<sup>じかん</sup>がムダになった。(※まずは班<sup>はん</sup>の人に)
- 3 先生が話<sup>む</sup>してる時は、先生の方<sup>む</sup>を向いてから聞く。ちゃんと向<sup>む</sup>いていなくて何回<sup>ちゆうい</sup>か注意<sup>ちゆうい</sup>をされたから。

### ○Cさん

- 1 先生の話<sup>あんぜん</sup>をよく聞き安全<sup>じつげん</sup>に実験<sup>とく</sup>に取り組む。先生の話<sup>あんぜん</sup>を聞かずに実験<sup>じつげん</sup>を行えばケガ<sup>けが</sup>もするし事故<sup>じこ</sup>になりかねない。
- 2 班<sup>はん</sup>で分担<sup>ぶんたん</sup>し一人一つの仕事<sup>しごと</sup>はできるようにする。みんなで一緒にやれば危<sup>あぶ</sup>なくないし、仕事<sup>しごと</sup>ができないのは不平等<sup>ふびやうどう</sup>。
- 3 話を聞く時は聞き、黒板<sup>こくばん</sup>を写<sup>うつ</sup>す時は写<sup>うつ</sup>す。メリハリをつけて一つのことに集中<sup>しゆうちゆう</sup>したい。

みんな仕事がある!



## 1428 「校庭の照明塔にカラスの巣」3/25

3月に三島小学校の職員<sup>しよくいん</sup>の皆様<sup>みなさま</sup>から退職<sup>たいしよく</sup>の記念<sup>きねん</sup>をいただきました。  
手ぶれをなくす機能<sup>きののう</sup>が付いた双眼鏡<sup>つ</sup>です。校庭<sup>こうてい</sup>の照明塔<sup>しやうめいとう</sup>にカラスの巣<sup>す</sup>を見つけました。



白黒印刷<sup>いんさつ</sup>では、巣<sup>す</sup>は見分けられないかな。

三島小HPの理科レポートなら分かりやすいです。

「遠足<sup>しやうめいとう</sup>の時に、照明灯<sup>えだ</sup>にカラスが枝<sup>はこ</sup>を何回も運んでいただけ、巣<sup>す</sup>を作っていませんか？」

「巣<sup>す</sup>が見えます。雑<sup>ざつ</sup>に枝<sup>えだ</sup>を組んだ巣<sup>す</sup>です。」

「肉眼<sup>にくがん</sup>ではまったく見えませんね。」

「やっぱり、巣<sup>す</sup>を作っていたんだ。」

東側<sup>ひがしがわ</sup>の照明塔<sup>しやうめいとう</sup>の下側<sup>したがわ</sup>、左から1番目と2番目の間にあります。



## 1429 6年「新しい空気の流れは」4/14

- 今日はコロナウイルスの対策を強化して授業ができたと思いました。1学期の目標の「発表」がいっぱいできました。聖恩さん
- 今日の実験は1学期の目標通り、班で協力することができました。土肥さん
- 班のみんなでしっかり協力して実験できたので良かったです。1学期の目標を全てできるようにしたいです。千帆さん
- 実験が成功して良かったです。ニコニコタイムが6でした。いつも6にしたいです。板邊さん
- ★ 「1学期の目標」を意識して授業をしています。自分が立てた目標を

## 1430 6年「新しい空気の流れは4月14日

- 今日はコロナウイルスの対策を強化してできました。1学期の目標の「発表」がいっぱいできました。聖恩さん
- 今日の理科では最初に作った1学期の目標を実行することができました。予想は一つはずしてしまったので、次は全問正解をしたいです。穩空さん
- 今日の実験では1学期の目標通り班で協力することができたので良かったです。土肥さん
- 班のみんなでしっかり協力して実験できたので良かったです。1学期の目標を全てできるようにしたいです。千帆さん
- ニコニコタイムが⑥だったので、いつも⑥にしたいです。板邊さん

## 1431 3年「虫メガネを使って生き物を観察しよう」4/16

- サクラの葉のもようがきれいでした。西川さん
- ★ 葉の模様を「きれい」と思う感性を大事にしてね。
- ノイチゴとかの花があるなんて知りませんでした。
- ★ 草にも名前があることに気付きましたね。
- こんな意味で名前がつけられているなんて、すごく感動しました。長谷さん
- ★ 植物の名前も、あなたの名前と同じように意味があります。
- ★ 3年生の分は、井門先生から感想をもらいました。何に、どう思ったかを知りたいです。



1432 5年「1学期の目標」4/14 \* 3つまでの目標のいくつかを紹介

○大西愛実さん

1 がんばって考えて発表する。間違っまちがた発表を  
したとしても、その問題もんだいを自学ふくしゅうで復習つぎして、次は  
できるようにになりたい。

2 班はんで協力きょうりよくする。班はんで協力きょうりよくすることを意識いしきすること  
によって、小テストやテストの成績せいせきも良よくなるから。

3 まとめノートで7以上取る。4年生の3学期に友達ともだちが  
7点とを取とっていて、私もとってみたいと思ったから。

★ 間違いも自分のプラスに、自分のプラスになる行動、友だちの成果も自分のプラスに。何でも自分の成長にしようとする態度がいいね。私もまねします。

○白井一沙さん

・ できなかったこともあきらめずいつしやうけんめいに一生懸命する。3年と4年の時ずっとあきらめていたから

○星川もみじさん

・ 発表はつびやうをしっかりする。4年生の時「間違っまちがっていたらどうしよう」という気持ちきもちがあつて  
発表はつびやうはできなかった。5年生では間違っまちがっていても発表はつびやうします。

○高橋諒羽さん

・ 授業じゆぎやう中にケンカをしない。4年生の時いはよくケンカをして嫌いやな思いをした。

★ 「ケンカをしない」の目標を立てた人は多くいました。ぜひ実行していこう。

○園川大翔さん

・ 班はんで協力きょうりよくする。4年生の時、ぼくが困こまっていると班はんの子たすが助けてくれてできました。協力きょうりよくし  
たらいいと思いました。だから5年生でも協力きょうりよくをします。

○石川拓篤さん

・ ノートを分かりやすくきれいに書く。4年生のノートを見返みかえすと、字きたなが汚きたなくて読みにくかった。

★ 自分のノートを見返しているところがいいね。自覚することで反省ができ改善できます。

○菅唯衣花さん

・ ニコニコタイムを大切になかにする。みんなと話しふか合いをして分かり合なかって仲を深めたい。

・ 先生の目を見て話を聞く。目を見ていたら集しゆうちゆう中つたしていることが伝つたわる。

★ うなずきながら聞いてくれていると嬉しいし楽しいです。

○大西ひまりさん

・ まとめノートをきれいにぜんぜんちがにする。5・6年生のまとめノートを見て、私と全然違ぜんぜんちがっていたからです。

○菅原小春さん

・ 単元まとめノートの合格点たいげんをとる。4年生の最後さいごがサクラのシールうれだったのが嬉うれしかったから。

4年 井川征路さん「<sup>まめ</sup>豆」4月4日

ぼくの家の庭に畑があります。この時期に豆が取れるので、豆について調べました。

ぼく「畑に豆を取りに行ったら二種類の豆の花があったよ。」

母「これはどっちの花？」

ぼく「白いうちわみみたいな茶色のしましまが入ってる花はそら豆だよ。」

母「そら豆ね。もう一種類は何？」

ぼく「ちょうちみみたいな形で緑色の線入っている花はえんどう豆だよ。」

母「豆はどんなふうに生えていた？」

ぼく「そら豆は上の方に入ってたよえんどう豆は下の方に入ってたよそら豆は空に向かって生えてたよ。」

母「空豆空に向かって入るからそら豆って言うんだよ。」

5年 大西愛実さん「<sup>ちが</sup>春キャベツとキャベツの違い」4月6日

ご飯の時にキャベツがありました。その時私は思いました。

私「お母さん春キャベツっていう種類の野菜があるよね。」

母「あるよ。」

私「春キャベツとキャベツ何が違うの？」

母「詳しくは知らないから自分で調べてみて。」

という事で調べることにしました。

まず違うのは種をまく時期です。年中スーパーで見かける一般的なキャベツは夏に種をまきますが、春キャベツは秋にまくので収穫時期も違います。見た目も全然違うそうです。キャベツは楕円形ですが、春キャベツは少し小さめで丸いのが特徴です。栄養価はあまり違いはないそうです。母に結果を知らせると納得していました。

5年 戸田ゆうきさん「<sup>ご</sup>ヒョウモンチョウの幼虫の冬越し」4月3日

年末からずっと幼虫のままで、年が明けてもなかなかさなぎにならなかった。スマレの葉が枯れて、エサがなくなると大きくなれず、サナギになれないようだ。天気の良い日にはブロックべいに登ってくるが、寒い日は姿が見えなくなる。二月の末にやっとブロックべいに逆さにぶら下がった。暖かい季節は、朝幼虫でも夕方にはサナギに変身しているのに、今回は三日目にやっとサナギになった。幼虫の中には寒さがこえたのか、地面でサナギに変身途中で死んだものも2匹いた。今までサナギから成虫になるには2週間くらいだったが、今回3月初めから1ヶ月ずっと変化なし。4月2日、とても暖かかった。4月3日の朝、見に行くと、サナギが抜け殻になっていた。いつのまにか羽化していた。

ぼく「途中で死んでいた幼虫もいたけど、4月3日になんとか羽化できてよかったね。」

祖母「生まれた季節によって小さな虫にも色々大変なことがあるんだね。」

ぼく「これまであまり気にしてこなかった自然の変化に、これからは注意して見守っていきたい。」

## 6年 進藤はのさん「サクラとウメとモモ」

春といえば花見ですが、サクラとウメとモモの<sup>ちが</sup>違いを見分けて楽しめていますか。

私「サクラとウメとモモの<sup>ちが</sup>違いって何だろう？」

姉「<sup>たし</sup>確かサクラの花びらは<sup>だえん</sup>楕円で、<sup>せんたん</sup>先端が分かれてハートみたいになってて、ウメは丸くて、<sup>だえん</sup>モモは楕円で<sup>せんたん</sup>先端がとがっているって聞いたことがあるよ。」

私「でもそんな近くまで見ないからな。」

姉「つぼみとかは？ネットで<sup>しら</sup>調べてみよう。」

<sup>しら</sup>調べてみるとサクラのつぼみは細長く、ウメはまん丸で、モモは丸みがあるそうです。<sup>はなめ</sup>花芽の数はサクラは<sup>こいじょう</sup>2個以上、ウメは<sup>こ</sup>一個ずつ、モモは<sup>こ</sup>2個(葉芽も<sup>はなめ</sup>花芽と同じところから出る)そうです。今年<sup>しんねん</sup>は外に出れませんでした、来年は見たいです。

## 0000 「ウィルスは身内だからなくせません」 4/3

生物学者の福岡伸一さんが面白いことを書いていたので紹介します。(4/3 朝日新聞)

「ウィルスはもともと私たちのものだった。それが家出し、また、どこかから流れてきた家出人を宿主(私たちも含む)は優しく迎え入れているのだ。」

私たちはウィルスを積極的に招き入れ、ウィルスの遺伝子を取り入れています。

ウィルスは殻と遺伝子。高等生物の遺伝子が外に飛び出したものがウィルスです。

病気になって死ぬかもしれないのに、どうして自分の体に招き入れるの？

進化を早めてくれるから。

ウィルスが人以外の生き物の遺伝子を運びます。その遺伝子が役に立つ遺伝子なら進化のジャンプが起こります。私たちのような哺乳類が生まれたのもウィルスの遺伝子のおかげと考えられています。逆の場合もあったでしょうが、生き残れません。

カビのような菌類、病気の原因となる細菌類。この二つは別物ですが「汚い」「危険」と思いませんか。美味しい食品を作ったり、病気の特効薬としての働きもあります。ウィルスも同じです。

「ウィルスは私たち生命の不可避的な一部であるがゆえに、それを根絶したり撲滅したりすることはできない。私たちはこれまでも、これからもウィルスを受け入れ、共に動的平衡を生きていくしかない。」

ウイルスは共存するしかない。と、いうことです。  
パンデミックは、繰り返し起こります。

0000 「新型コロナウイルスの感染者数と致死率の変化」3/28

3月28日に新しい数字が新聞に載っていたので20日前と比べました。

3月8日				3月28日			
国名	感染者数	死者数	致死率	感染者数	死者数	致死率	
中国	8万851人	3万70人	3.8%	8万1996人	3万299人	4.0%	
韓国	7041人	48人	0.7%	9478人	144人	1.5%	
イラン	5823人	145人	2.5%	3万5408人	2517人	7.1%	▲
イタリア	4636人	197人	6.4%	8万6498人	9万134人	11%	▲
日本	1149人	13人	1.1%	1827人	55人	3.0%	
ドイツ	684人	0人	0.0%	5万3340人	395人	0.7%	
フランス	653人	9人	1.4%	3万3414人	1997人	6.0%	▲
スペイン	401人	5人	1.2%	6万5719人	5138人	7.8%	▲
アメリカ	338人	14人	4.1%	10万4837人	1711人	1.6%	
イギリス	164人	2人	1.2%	1万4754人	761人	5.2%	▲

★ 初めは「中国以外の致死率は0.2%」と報道されていました。大きく変化しています。

中国で始まったウイルス感染が世界中に広がったのは、人々が「大量に」「より早く」「多くの場所に」移動できるようになった結果です。全ての国が協力して取り組まなければ解決できないことを学ぶ機会にしてほしい。気候危機、プラスチックごみ問題、海洋汚染問題も同じくらい切実な問題です。

この号が配られる頃には、状況は好転してほしいです。

0000 心理クイズ

ヒツジ、サル、トラ、ウシ、ウマと家族のように旅をしていました。でも、お金がなくなって、どれかを売らなくてはいけなくなりました。どれから売りますか。

私は「ヒツジ、サル、トラ、ウシ、ウマ」と答えました。

ヒツジ=配偶者、つまりお父さんとお母さんの関係

サル=子ども

トラ=プライド





Aは、容器に葉が付いたツバキの枝を入

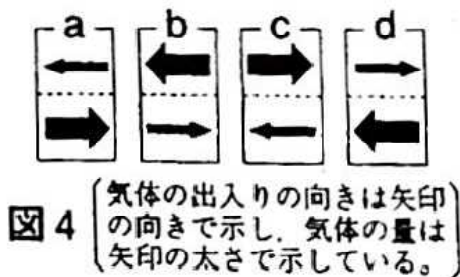
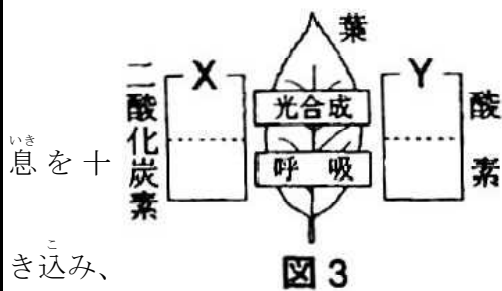


表2

	X	Y
ア	a	a
イ	a	b
ウ	c	c
エ	c	d

したものの。

Bは容器に葉が付いたツバキを入れて、

息を十分に吹き込み、ふたをして箱

をかぶせたもの。

Cは、容器に息を十分

に吹き込み、ふたを

したものの。

Dは、容器に息を十分に吹き込み、ふたをして箱をかぶせたもの。

A～Dに6時間、光りを当てました。この時、光を当てる前と後の、容器の中の酸素と

二酸化炭素の体積の割合を調べました。表1は、その結果をまとめたものです。

(2) ツバキは、光が当たっている時だけ光合成を行います。ツバキの呼吸による酸素と二酸化

炭素のそれぞれの出入りのようすを確かめるには、表1のA～Dの、どの2つを比べれば

よいでしょうか。

(3) 図3は、Aの葉の酸素と二酸化炭素それぞれのようすを表したものです。XとYには、

それぞれ図4のa～dのどれがあてはまりますか。表2のア～エから、最も適当なものを

1つ選びなさい。

答 三 (2)B と D 呼吸の実験だから光が当たらない条件下で比べます。  
 (3)ウ 二酸化炭素は光合成で、酸素は呼吸で多く使われます。



# 三島小理科レポート

2019年度 1143  
 四国中央市立三島小学校  
 田中正史

## 1401 「県立高入試の中で小学生でも解ける問題」3/12

★ 4年生の学習内容。手羽先の実験は今の6・5年はしています。

(5) 次の①、②の { } の中から、それぞれ適当なものを1つずつ選びなさい。

皮をはいだニワトリの手羽先を用意し、図7のようにピンセットでつまんだ筋肉Mと、Nで示された、骨と筋肉をつなぐ① {ア 関節・イ けん} のようすを観察しました。

筋肉Mを の向きに引っばると、Nがひっぱられ、  
手羽先の先端は の向きに動きました。 下線部のような動きは、実際は筋肉Mが② {ウ ちぢむ・エ ゆるむ} ことでおこります。



★ (1)は5年生の学習内容です。(2)は6年生の教科書を見て解いてみましょう。

4 図10は、ろ頭の図です。太郎さんは、このろ頭で見られる地層P～Sを観察し、地層Rのいで岩から、図11のようなアンモナイトの化石を見つけました。

(1) 地層Q～Sの岩石に含まれる粒については、風によって広い範囲に運ばれる地層Pの火山灰の粒とは違う方法で

運ばんされ、たい積していることが分かっています。

また、地層Q～Sの岩石に含まれる粒と地層Pの火山灰の粒では、形の特ちょうにも違いがありました。

地層Q～Sの岩石にふくまれる粒の形の特ちょうを、その粒が何によって運ばんされたか

についてふれながら、次の書きだしに続いて簡単に書きなさい。

- ・地層Q～Sの岩石に含まれる粒は（  
）

- ② 次の文の①、②の { } の中から、それぞれ適当なものを1つずつ選び、ア～エの記号で書きなさい。

太郎さんは、このろ頭をもう一度観察しました。すると、地層Q、Sのどちらかの地層の中から、図12のようなピカリアの化石が見つかりました。

ピカリアの化石が見つかったのは① {ア 地層Q・イ 地層S} で、その地層がたい積した年代は② {ウ 中世代・エ 新世代} です。

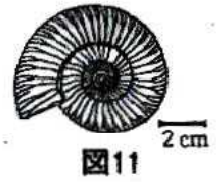


図11



図12

- 答 4 (1) 流れる水によって運搬されたことで、丸い形になっている。  
(2) ア 貝は砂場で生活します。  
エ 覚えるしかありません。

鳴くと

